

Stage7

Tiger's Discovery

タイガーが見つけたもの

作・ミカエラ・モーガン

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話すといいでしょう。

- ・表紙と裏表紙を見ましょう。この本にどんなことが書かれているかヒントがみつかります。
- ・2 ページを見て、この本に出てくる人たちを確認しましょう。
- ・ページをパラパラとめくって絵を見てください。この話でどんなことが起こりそうだと思うかお子さんにたずねてみましょう。

自分のスピードでこの話を読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

<ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

corridor 廊下

staffroom 職員室

earring イヤリング

sparkled 輝いた

breath 呼吸

swirled 回転した

[p. 1]

タイガーが見つけたもの

作・ミカエラ・モーガン

絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

お話にでてくるひと……

タイガー

ジョーンズ先生(タイガーの担任)

ミルズ夫人(校長)

[p. 3]

タイガーは学校に遅刻しました。タイガーが職員室の前を通りかかったとき、声が聞こえました。

「どこで失くしたと思うの」ミルズ先生は言いました。

「わからないの」、ジョーンズ先生は言いました。ジョーンズ先生はとても困っているような声でした。

[p. 4]

タイガーはジョーンズ先生はなにをなくしたんだろうと思いました。タイガーは職員室をのぞきこみ

ました。

「どんなふうのものなの？」ミルズ先生がたずねました。

ジョーンズ先生は手をさしたしました。なにかが光りました。

[p. 5]

「まあ、たいへんだわ！」ミルズ先生が言いました。

「あとでイヤリングをさがさないと」ジョーンズ先生は言いました。

授業を知らせる鐘が鳴りました。タイガーは隠れました。ミルズ先生とジョーンズ先生は職員室をでて行ってドアを閉めました。

[p. 6]

タイガーはジョーンズ先生が困っているのを見たくありませんでした。タイガーに考えがうかびました。タイガーは時計のダイヤルを回して……

<職員室>

[p. 7]

小さくマイクロ・サイズになったタイガーは、ドアの下をはっていきました。

タイガーはこれまで職員室に入ったことはありませんでした。

少しおっかない気がしました。タイガーはキラキラ光るイヤリングが見つかるように願いながらあたり一面を見回しました。

[p. 8]

ちょうどそのとき、ドアが開きました。ミルズ先生が戻ってきました！

「まずい！」タイガーはさげびました。

タイガーは走ってゴミ箱のうしろに隠れました。

[p. 9]

「なんて散らかってるのかしら！」ミルズ先生が言いました。

「どうりでジョーンズ先生がイヤリングを見つけられないわけね」

ミルズ先生はゴミを拾ってゴミ箱に向かって歩きました。タイガーは移動しなければいけませんでした……急いで！

[p. 10]

タイガーはテーブルに向かって走りました。タイガーは見上げました。

なにかが光りました！ それは書類の山のいちばん

上にありました。

「あったぞ！」タイガーは言いました。

<子どもたちはどのように学ぶのか>

<集会用の遊び>

<おとぎ話>

[p. 11]

ミルズ先生はむこうを向いていました。

タイガーは登り始めました。

かなり大変でした。

ようやくタイガーは頂上にたどりついて…… どんな光るものを見つけたのでしょうか？

<授業>

[p. 12]

それは画びょうでした。

「なんだ！」タイガーは不満の声を上げました。

そのとき書類の山が傾きました。タイガーはすべりはじめました。

「助けて！」タイガーはさげびました。

タイガーはひっくり返って、すべって、ころがり落ちました。

「あああああああ！ 助けて！」

[p. 13]

「バシャンッ！」

“バシャンッ！”

タイガーは冷めた紅茶のマグカップの中に落ちました。タイガーが泳げたのは幸運でした。

「どうやってここから脱出しようかな？」タイガーは言いました。

[p. 14]

タイガーは長く待たずにすみません。ミルズ先生がこちらにやって来ました。

「なんて散らかってるんでしょう！」ミルズ先生は言いました。ミルズ先生はマグカップを持ち上げました。

「まずい！」タイガーは言いました。タイガーは息を止めて冷めた紅茶の中にもぐりました。

<子どもたちはどのように学ぶのか>

<学校用の環境にやさしい庭>

<集会用の遊び>

<おとぎ話>

[p. 15]

ミルズ先生は流しに冷めた紅茶をすてました。

“バシャッ！”

タイガーはグルグルグルグルせん回しました。タイガーは排水口の方へ引きこまれました。

<バシャッ！>

[p. 16]

「助けて！」タイガーはさげびました。

タイガーは栓をしっかりとつかんで、ぎゅっとしがみつきました。紅茶は排水口にゴボゴボ流れおちていきました。

紅茶が流れ終わると、タイガーは流しに降りました。

「助けて！」

[p. 17]

流しはいくらか汚れていました。マグカップがひとつにスプーン数本と…… あれはなんでしょう？
なにかが光りました！

それはイヤリングでした！

[p. 18]

タイガーはイヤリングを拾い上げました。タイガーは流しの栓のチェーンを登って、流しの外にでました。それからタイガーはハンドタオルをつたって下におりました。タイガーは職員室を走って横切り、ドアの下からはい出しました。

[p. 19]

廊下に戻ると、タイガーはイヤリングを下におきました。タイガーは時計のダイヤルを回して……

[p. 20]

タイガーはイヤリングをつまみあげて、教室へ急ぎました。

「タイガー！」ジョーンズ先生は怒った声で言いました。「どうしてこんなに遅れたの？ それにどうしてそんなに全身汚れて、ぬれてるの？」

「ごめんなさい、ジョーンズ先生」タイガーは言いました。「水たまりに落ちたんです」

[p. 21]

タイガーは手を差し出しました。

「でも、ぼくこれを見つけましたが」タイガーは言いました。「だれか失くした人はいませんか？」

「私のイヤリングだわ！」ジョーンズ先生は言いました。ジョーンズ先生はとてうれしそうな声でした。「ありがとう、タイガー！」

[p. 22-23]

もういちど自分でこの話をしてみよう……

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・どうしてタイガーは廊下にいたんだろう？
- ・タイガーが見つけた最初の光ったものはなんだった？
- ・イヤリングはどこにあったかな？
- ・この話の最後では、どんなことが起きたらう？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

お子さんとこの本のことをくりかえし話題にしましょう。お子さんが失くしたものや見つけたものについて話しましょう。

お子さんにこの話の中の場面を絵に描くようにいってはいかがでしょうか？